

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技10							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	3・4期	山本 光彦		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	柔道整復実技			実技	1	20	
科目概要							
高齢社会における柔道整復師の役割や活躍の可能性を考察します。 老化による身体機能の低下や、高齢者の心理を理解し介護予防機能訓練で提供する運動を学習します。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		この科目の目標は介護予防機能訓練を実施できるようになることです。 高齢者特有の疾病や症状を理解し、適切で丁寧な指導方法を身につけます。 介護予防機能訓練の立案・指導・評価に必要な知識を習得し技術を身につけます。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		①高齢者の身体特徴や心理を説明することができる。 ②機能訓練指導員の役割を理解し機能訓練を指導することができる。 ③高齢者の特徴を把握し、外傷予防に対する機能訓練を実施することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
柔道整復師は柔道整復の他に機能訓練指導員として介護予防機能訓練を行うことができます。 高齢者や障がい者に寄り添った機能訓練を行うには、技能だけでなく倫理的な思考も重要となります。							
教科書・参考書							
『柔道整復師と機能訓練』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
前半は教科書を中心に授業し、後半は機能訓練の実技を行います。 実務を想定したグループワークやプレゼンテーションを実施します。積極的な授業参加を希望します。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	50			50			100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	柔道整復師と介護保険			P.1-P.3	教科書		
第2回	発達と老化の理解			P.5-P.24	教科書		
第3回	認知症の理解			P.25-P.44	教科書		
第4回	介護保険制度			P.47-P.66	教科書		
第5回	介護の過程			P.67-P.71	教科書		
第6回	高齢者の介護とICF			P.73-P.82	教科書		
第7回	介護予防と生活機能の向上			P.85-P.88	教科書		
第8回	介護予防・日常生活支援総合事業			P.89-P.93	教科書		
第9回	ロコモティブシンドローム			P.95-P.102	教科書		
第10回	高齢者自立支援の理解			P.103-P.122	教科書		
第11回	機能訓練指導員と機能訓練			P.123-P.148	教科書		
第12回	機能訓練で提供する運動と要点			P.151-P.178	教科書		
第13回	高齢者体験			P.179	教科書		
第14回	介護予防機能訓練 1			P.180-P.188	教科書		
第15回	介護予防機能訓練 2			P.189-P.198	教科書		
第16回	介護予防機能訓練 3			P.199-P.210	教科書		
第17回	介護予防機能訓練 4			P.211-P.229	教科書		
第18回	実技試験						
第19回	定期試験						
第20回	介護予防機能訓練 総復習			P.1-P.229	教科書		
実務経験と本講義との関連について							
埼玉県さいたま市において1999年から介護支援専門員、2014年からさいたま地域包括支援センター運営協議会委員、2019年から(公社)埼玉県柔道整復師会介護委員長としての実務経験から介護予防機能訓練について指導します。							
メールアドレス							
m.yamamoto-1@nihonisen.ac.jp							